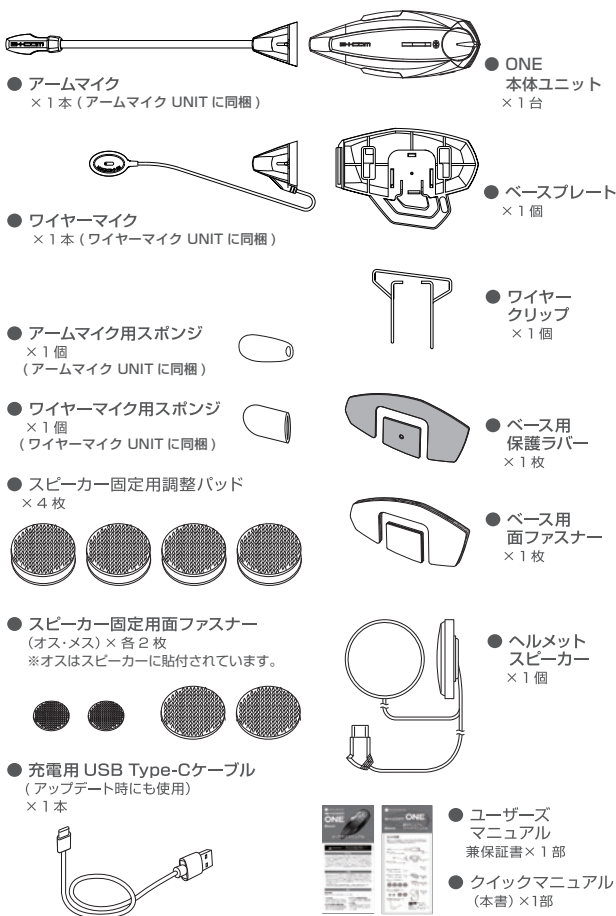
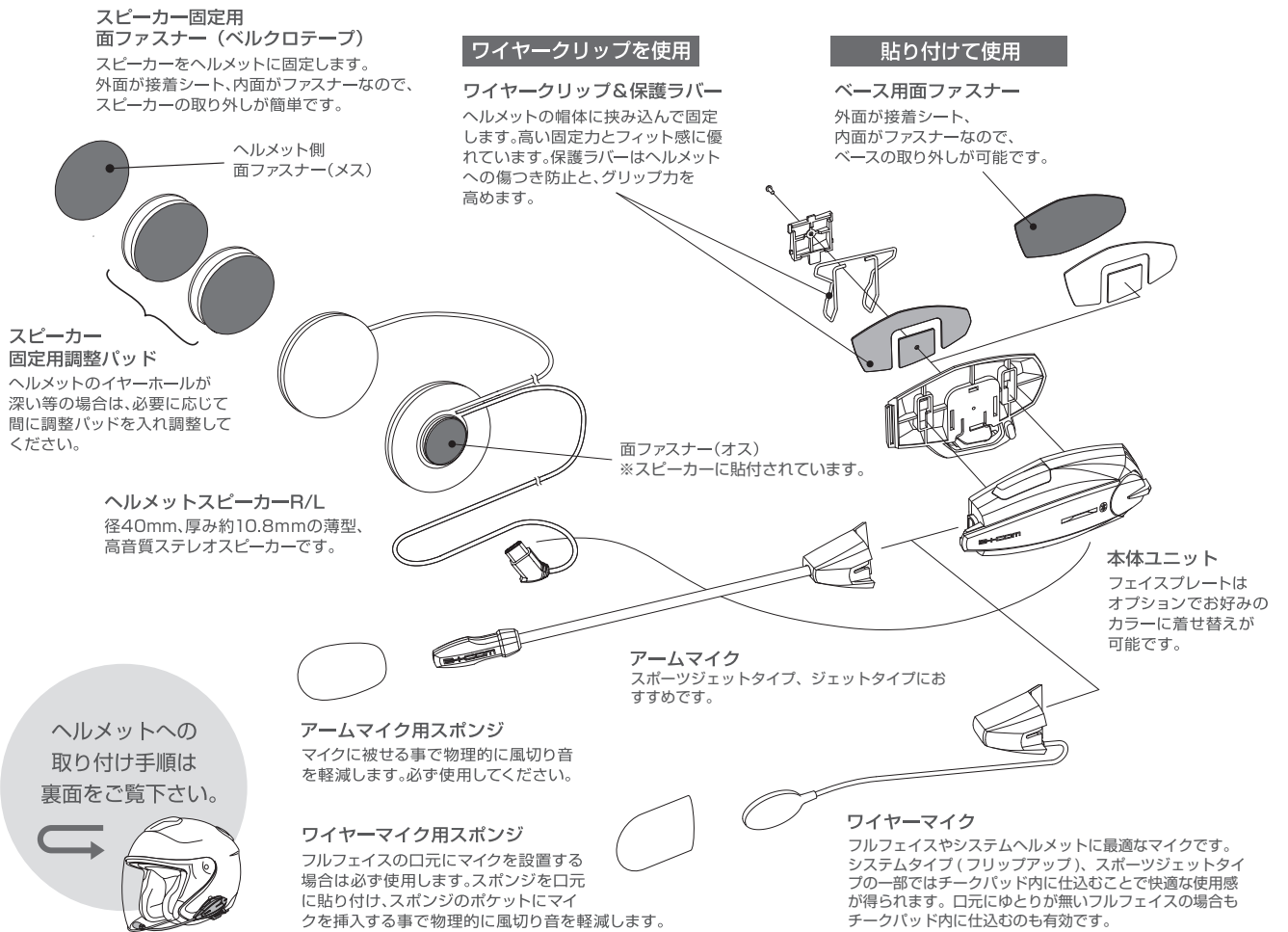


セット内容

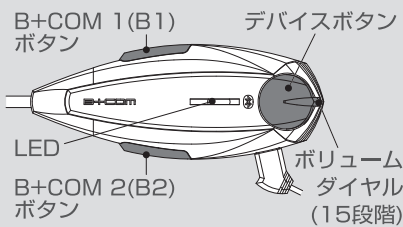
製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。



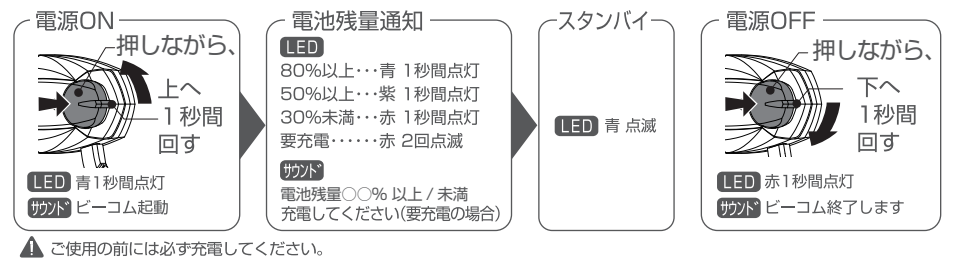
B+COM ONE の構成



使用方法

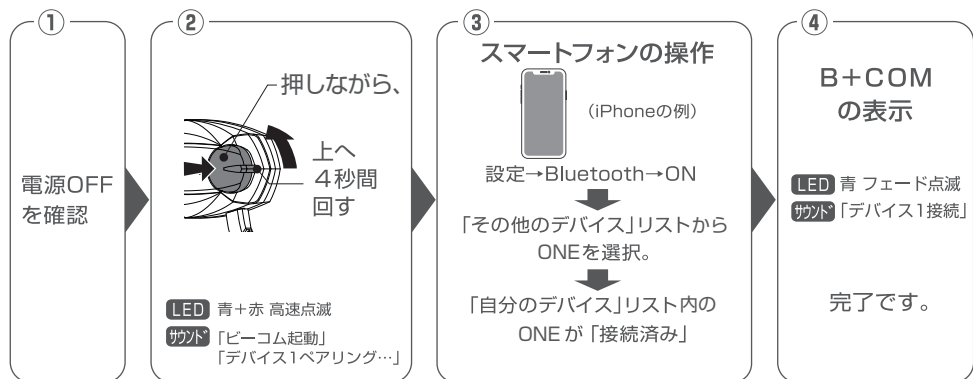


STEP 1 電源を入れてみよう



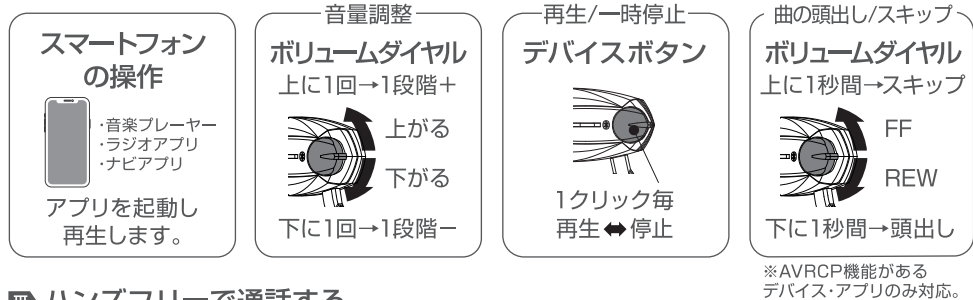
STEP 2 スマートフォンと接続して音楽や電話をしてみよう

Ⅰ B+COMとスマートフォンをペアリング (初期登録) する。

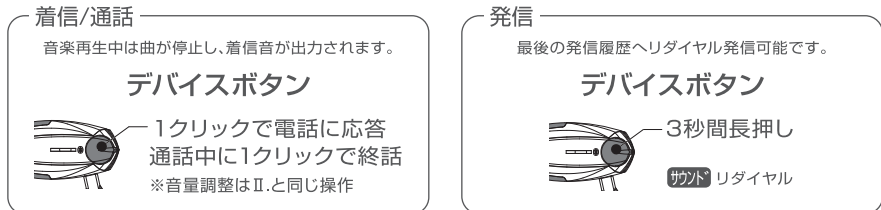


一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

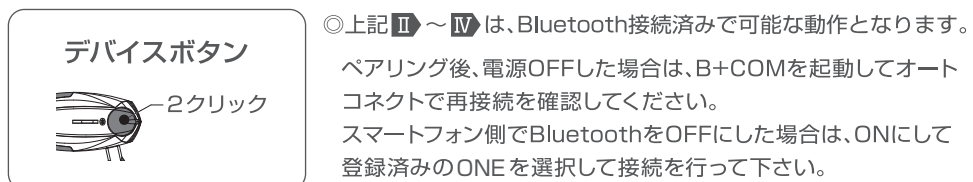
Ⅱ 音楽やラジオ (アプリ)、ナビ音声案内を聴く。



Ⅲ ハンズフリーで通話する。



Ⅳ Siri等の音声認識起動

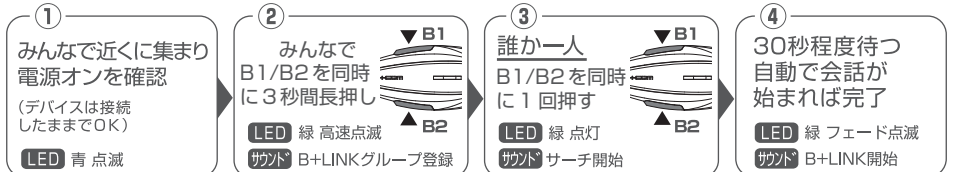


STEP 3 B+COM同士で通話してみよう

☑ B+LINK™

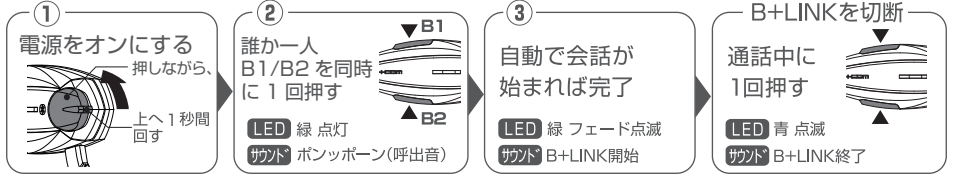
● ONE/SB6X同士のB+LINK通話の場合

Ⅰ ONE/SB6X同士を最大6台で同時にペアリング (初期登録) する。



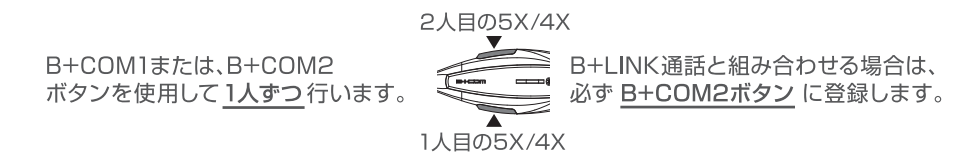
この操作 (ペアリング) は、グループが集合した際に最初だけ必要です。

Ⅱ ペアリング済みのONE/SB6X同士でB+LINKグループ通話する。

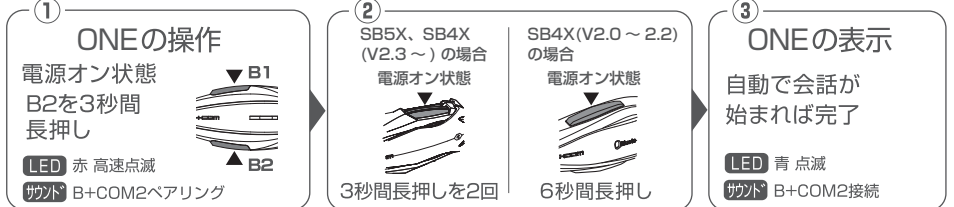


● SB5X、SB4X/Liteとの通話の場合

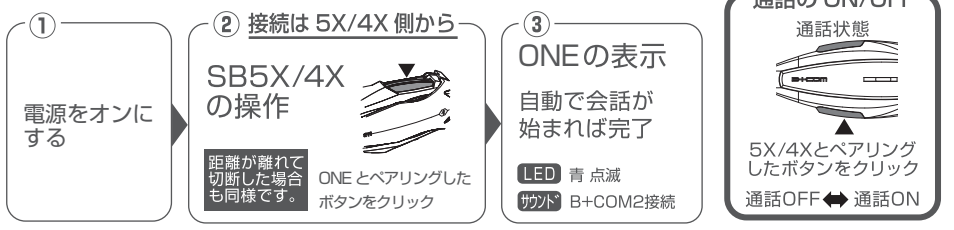
Ⅰ SB5X、SB4X/Liteとペアリング (初期登録) する。



● B+COM2ボタンに登録する場合



Ⅱ ペアリング済みのSB5X、SB4X/Liteと接続して通話する



取り付け手順

B+COM ONE の音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

装着時の注意点

●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。 ●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。 ●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めて、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。 ●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間にに入れてください。 ●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。 ●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

STEP 1 マイクと取り付け手順を確認しよう

I ヘルメットの種類によって適しているマイクが異なります。

	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アームマイク	△	△	○	○
ワイヤーマイク	○	○*	○*	×

※チークパッド内に入るタイプのみ

II マイク UNIT の種類に合わせて順番に取り付けます。

STEP 1

アーム
マイク
UNIT

ワイヤー
マイク
UNIT

STEP 2

スピーカ-
の取付

STEP 3

ベース
の取付

STEP 4

アームマイク
を本体へ取付

ワイヤーマイク
をヘルメットに
取付

STEP 5/6

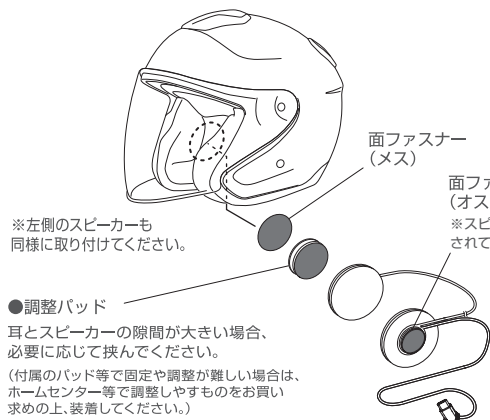
本体取付
ケーブル配線
(スピーカ-)

本体取付
ケーブル配線
(スピーカ-・マイク)

STEP 2 スピーカーを取り付けよう

イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI社製、ジェットタイプなど)

面ファスナーをスピーカ-設置場所のヘルメット面にメス側、スピーカ-の裏面にオス側を貼り付けスピーカ-を固定します。



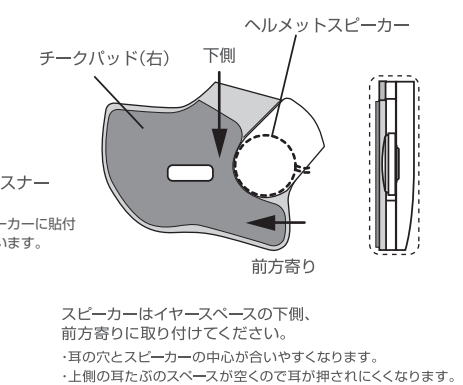
調整パッド

耳とスピーカ-の隙間が大きい場合、必要に応じて挟んでください。
(付属のパッド等で固定や調整が難しい場合は、ホームセンター等で調整しやすいものをお買い求めの上、装着してください。)

※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

チークパッド(システムパッド) のイヤースペースが 布で覆われ脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカ-を入れて面ファスナーで固定してください。

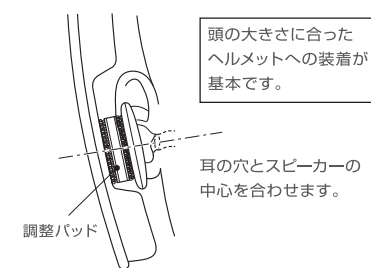


スピーカ-はイヤースペースの下側、前方寄りに取り付けてください。
・耳の穴とスピーカ-の中心が合いやすくなります。
・上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなります。

重要 POINT

スピーカ-単体を耳にあてて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「(音量を上げると)ノイズがひどい」といった症状になります。

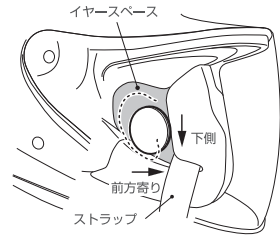
耳にやさしくフィットするよう 調整パッドで隙間を調整してください。



- 隙間が大きい
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。
- 耳の中心からずれている
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります(特に耳の上部)。

取り付ける前に本来の 音量・音質を確認しましょう！

スピーカ-はイヤースペースの下側、 前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように 取り付けてください。



- 耳の穴とスピーカ-の中心が合いやすくなります。
- 上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりにくくなります。

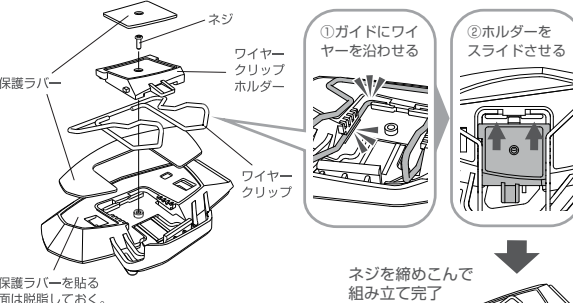
STEP 3 ベースを取り付けよう

組立には精密ドライバー No.0 が必要になります。

ベースの取付方法は2種類ありますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。
また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置にくるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めてください。

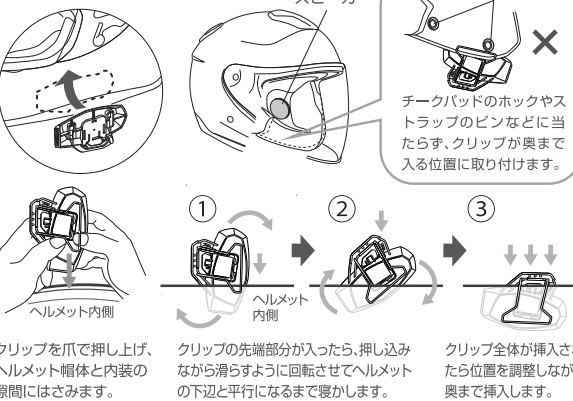
ワイヤークリップを使用

●ワイヤークリップの組立て

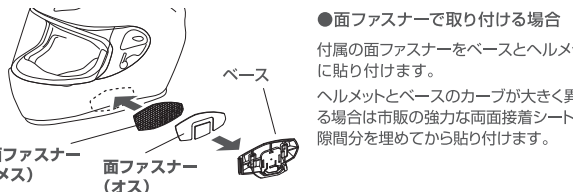


ヘルメット外装へ挟み込むため、確実なホールド性が高いフィット感が得られます。
保護ラバーはヘルメット外装への傷防止とクリップ力を提供します。

●ワイヤークリップの取り付け



貼り付けて使用



●面ファスナーで取り付ける場合
付属の面ファスナーをベースとヘルメットに貼り付けます。
ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間を埋めてから貼り付けます。

貼付けする面は必ず脱脂を行ってください。

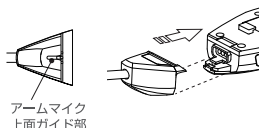
STEP 4 マイクを取り付けよう

マイクの脱着はベースから本体を外してから行ってください。

アームマイク

●マイクスポンジの取り付け
突起がある方が口元へ向ける方向です。

●本体へのマイクの取り付け
本体とマイクのガイド部・コネクタ部の位置を合わせます。

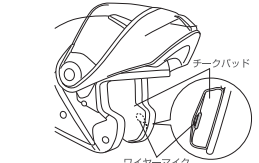


ワイヤーマイク

●マイクスポンジの取り付け



●システムヘルメットや頬パッドの外布が外れるスポーツジェットの場合

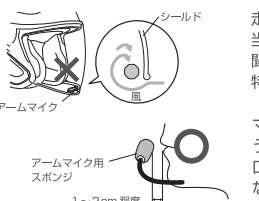


●本体へのマイクの取り付け



マイクについての注意点

●マイク用スポンジは必ず使用。物理的に風切り音を軽減します。



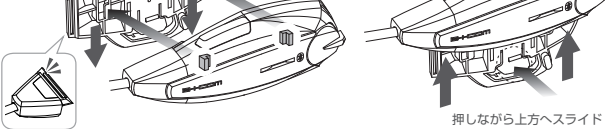
走行中に巻き込み風や流速の早い風がヘルメットに当たると、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

マイクは、シールドの中に入るよう淵から離し、図のように口元に位置を合わせます。
口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。落下の原因となります。

STEP 5 本体と配線を取り付けよう

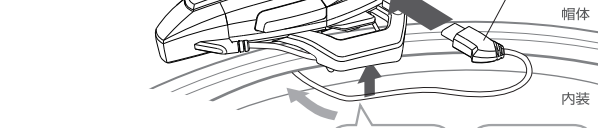
●本体ユニットのベースへの取り付け
本体裏側の突起をベースの穴に合わせて押し込み下方にスライドさせながらカチッと止まるまで下げます。

●本体ユニットからベースの取り外し
ベースプレートのツメを押しながら上方へゆっくりと平行に引き抜きます。



アームマイク使用時はマイクの突起とベースの溝を合わせてスライドさせてください。
取付が不十分な場合、脱落する恐れがございます。

●ケーブル(ワイヤー)の接続
スピーカ-ハーネスのコネクタ(USB Type-C端子)を本体につなぎます。



ワイヤーマイクハーネスとスピーカ-ハーネスはベースプレート裏側の溝に差し込みが可能です。お好みに合わせて調整してください。
※余ったケーブルは傷つけないようにヘルメット帽体と内装の間に押し込んでください。

ワイヤーマイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカ-と本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にスピーカ-ケーブルを傷つけないように押し込んでください。

アームマイク

ワイヤーマイク



ケーブルの、折り曲げ、引っ張り厳禁！

ヘルメットへの取り付け方法を わかりやすくご案内！



それでも
わからない場合は！

サインハウスカスタマーサポートを
ご利用ください！

お電話で 03-5483-1711
インターネットで sygnhouse.jp



サポートはいつでも